

SportsArt_{FITNESS}

取扱説明書



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書は保証書とともに大切に保管してください。

もくじ

「安全にお使いいただくために」はご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

はじめに

設置場所について	6
供給電源について	6
各部の名称と付属品について	7
トレッドミル組立方法	8

操作方法

操作部、表示パネル部の名称	13
プログラムの概要	14
1. クイックスタート	15
2. マニュアルモード	16
3. プログラムモード	17
4. ヒルモード	18
5. グルーツモード	19
6. インターバルモード	20

調整方法とお手入れ方法

走行ベルトの張り調整	22
走行ベルトの偏り調整	23
各部のお手入れ方法	24

トラブルシューティング

ヒューズの交換方法	25
エラーメッセージについて	26




その他

脈拍センサーの使用方法	27
仕様 性能 寸法	27
日常点検表	28
定期点検表	29
保証書	
簡単操作表	




安全におつかいいただくために

このたびは トレッドミル TR22 をお買い求めいただきありがとうございました。

- ご使用の前にこの「安全にお使いいただくために」をよくお読みになり、この製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される内容が記載されています。
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

図記号の例

	禁止の行為であることを告げるものです。
	警告、注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な内容を近くに文章で示します。
	行為を強制したり指示したりする内容があることを告げるものです。

警告

- 身体に病気や障害のある方はトレーニングを始める前に必ず専門の医師、またはスポーツトレーナーにご相談ください。特に次の病気のある方は、必ず医師にご相談ください。心臓病（狭心症・心筋梗塞など）、高血圧症（降圧剤を服用中の方など）、糖尿病、呼吸器疾患（ぜんそく・慢性気管支炎など）、変形性関節リウマチ、痛風など。）
- ご年配の方や運動習慣のない方がご使用になる場合は、念のため専門の医師、またはスポーツトレーナーにご相談ください。
- 本機をリハビリテーションの目的に使用される場合は、危険防止のため必ず監督者の下で使用してください。
- 操作者および使用者は、手や足、髪、装飾類衣服などをマシンの可動部分に近づけないでください。巻き込まれたり、挟まれたりする恐れがあります。
- 電源投入時や再起動する時は走行ベルトの上に乗らないでください。走行ベルトが急に動き出す場合があります。
- マシンの速度を急激に変更しないでください。マシンから落下する恐れがあります。
- メンテナンス等で、モーターカバーを外す場合は販売店にご相談ください。内部に高電圧部分があり感電する恐れがあります。

危険

- 防爆については、特に考慮して設計されていませんので、可燃性ガス等の発生する恐れのある環境での使用は、引火、火災、爆発の恐れがあるのでお止めください。
- ガス管を使用するアースの使用は、火災、爆発の恐れがありますのでお止めください。
- トレッドミルの近くで可燃性および引火性の気体・液体を使用しないでください。
- トレッドミルの改造は絶対にお止めください

注意

(設置上の注意)

- 水のかからない場所に設置・保管してください。また、熱器具の近くや浴室の脱衣所等の湿気の多い場所への設置は避けてください。
- 湿度、風通し、日光に留意し、ほこり、塩分、硫黄分などにより、悪影響の生じる恐れのない場所に設置・保管してください。
- 使用者がトレーニング中に他の器具に触れないような場所に設置し、本体の後方面は走行速度についていけない場合など待避所として1m以上空けて設置してください。
- 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）等、安定状態に注意してください。
- 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置・保管はしないでください。
- 電源の電圧、周波数、および消費電力が正しく供給できる場所に設置してください。
- マシンを設置する時にはアースを正しく確実に接地してください。
- コード類が正しく確実に接続されているかご確認ください。
- コード類を取り外す際は正しく持って取り外してください。
- 電源、電圧、およびアースの接地をご確認ください。
- 本機は屋内での使用に限定し、屋外での使用は禁止してください。

(使用上の注意)

- マシン、および付属品等は次回の使用に支障のないように清浄にしておいてください。
- 電源コードを抜き差しする時は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。電源スイッチを入れたままだと内部の電子基盤などに悪影響を及ぼすこともあります。
- ご使用の前に必ずトレッドミルの状況をチェックしてください。
- マシンが正常に安全に作動することをご確認ください。
- マシン、および使用者に異常がないことを常に監視し、異常が発見された場合は直ちに使用者の安全を最優先し、マシンの動作を止める等の適切な処置をしてください。
- マシン、および他の器具等に使用者が触れることがないように注意してください。
- マシンの安全を維持するために日常点検を実施してください。
- マシン、および部品を定期的に点検するようにしてください。
- トレーニングの際は運動に適したシューズ、ウエアを着用してください。
- このマシンの使用体重制限は100kg以内です。
- 2人乗り、後ろ向きでの走行、自分のレベルを超えた運動、飛び乗り、飛び降りには絶対にしないでください。
- 走行ベルトは定期的に交換が必要です。使用条件、環境にもよりますが、累計使用時間1,000時間を目安に交換してください。走行ベルトの交換を怠りますと、電子基盤やモーターなどの故障につながります。
- 本機は家庭用です。不特定多数での使用はお止めください。使用の目安は1回の使用時間が1時間以内とし、連続使用はお止めください。1日の合計使用時間は2時間以内です。

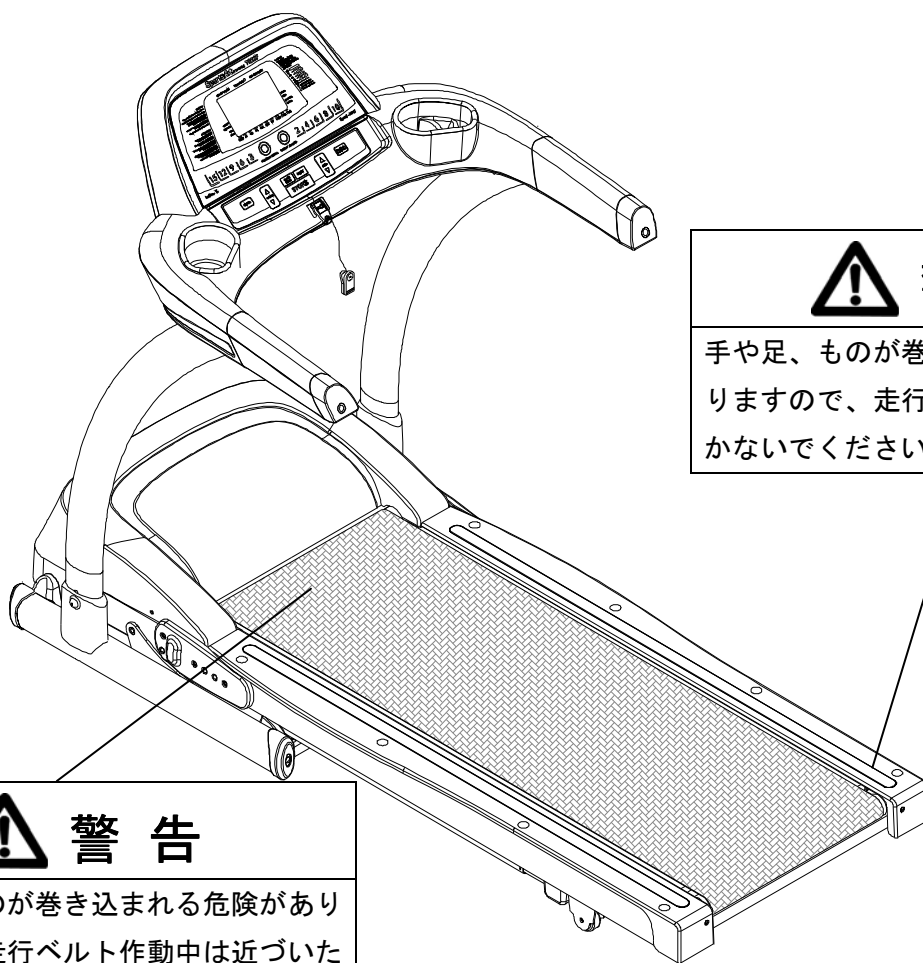
警告

このマシンをリハビリテーションの目的に使用する場合、危険防止のため、必ず監督者のもとで使用してください。

このマシンの走行動作中は事故防止のため、監督者以外をこのマシンに近づけないでください。

注意

ストップボタンは高速時での使用は十分に注意してお使いください。



警告

手や足、ものが巻き込まれる危険がありますので、走行ベルト作動中は近づかないでください。

警告

手や足、ものが巻き込まれる危険がありますので、走行ベルト作動中は近づいたり、物を置いたりしないでください。

はじめに

◎設置場所について

- (1) トレッドミルの設置場所は使用者の安全を確保するために十分に広い場所を設け、トレッドミルの周囲、特にその後部には使用者の転倒に備えて厚手のマット等を敷き、事故防止が配慮されている場所をお選びください。
なお、このマシンは液体の進入や可燃性ガスに対する防爆を考慮しておりませんので水のかからない、また可燃性雰囲気ではない場所で使用してください。
また環境条件として、室温、および湿度は四季を通じて、できる限り一定に保つようにしてください。
- (2) トレッドミルは重量がありますので、荷重に耐えうる水平な床面に設置してください。設置条件が悪い場合には共振による騒音、および振動等が発生したり、走行ベルトに偏れが生じたりしますので、注意してください。

◎供給電源について

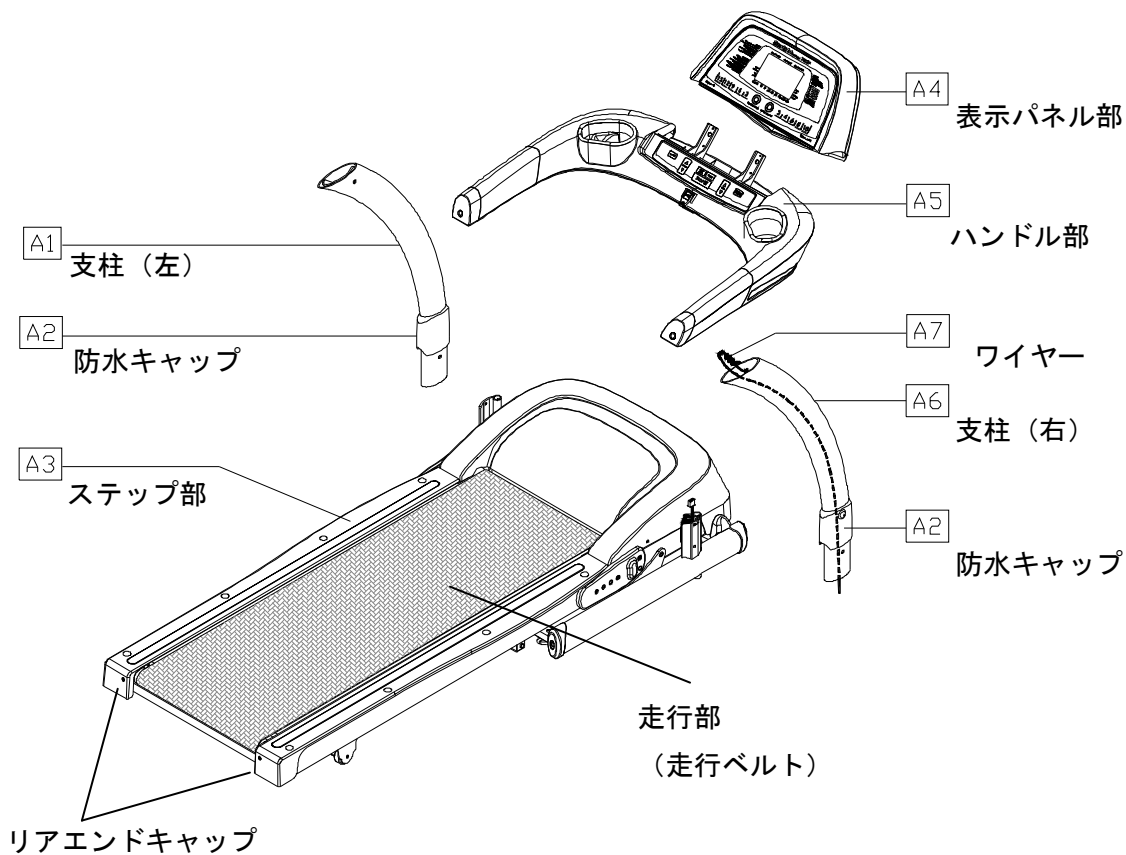
トレッドミルは稼動時に大電流を消費するため、容量を考慮して専用の AC100V 電源ラインのコンセントを用意してください。(トレッドミルの最大アンペアは 12A)
また、電源コードは延長ケーブル、テーブルタップ等の中継コードを介さず、必ず専用壁面のコンセントに付属の電源コードを用いて差し込んでください。
(1つのシステムのコンセントには1台のトレッドミルとなるのが望ましいです。)


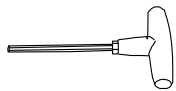
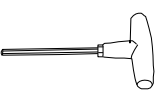


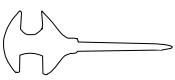
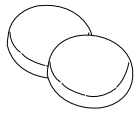
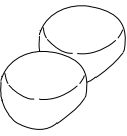

※電源コードは本体の下をくぐらせないように配線してください。やむを得ず、本体の下をくぐらせる場合は、移動用キャスター等に挟まないようにお願いします。



アースは必ず接地してください。アースを接地しないと外部ノイズ等の発生によりマシンに異常な現象を起こす場合があります。アースを接地しない場合の故障は保証の対象外となる場合があります。

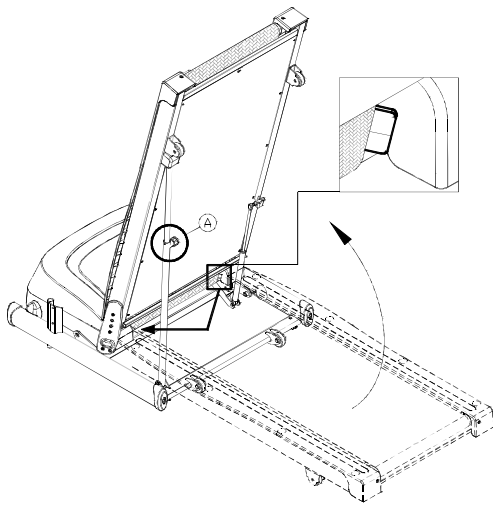
◎各部の名称と付属品について



A ドライバー 	B T型レンチ (6mm) 	C T型レンチ (4mm) 	D ヒューズ (12A) 	E 安全キー 
F コンベクションレンチ 	G ホールキャップ (平型) 	H ホールキャップ (波型) 	I 防水キャップ 	

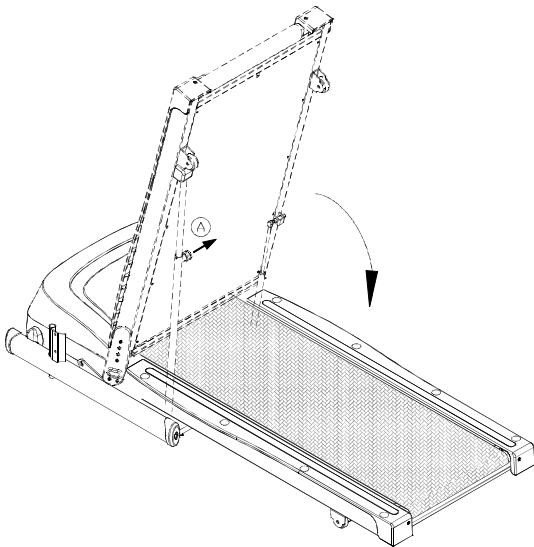
◎ 安全キーはご使用前に必ず取付けてください。安全キーを取付けしないとマシンが作動しませんので、ご注意ください。

◎トレッドミルの組立て方法

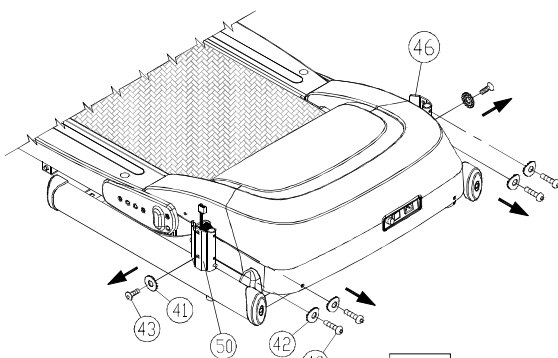


- ①左図のように本体部分を折畳みます。最後まで押込みます。本体固定ノブ①がカチッという音がするまで押込んでください。

※ 右側の拡大図のようにアライメントローラーが正常な状態か確認してください。

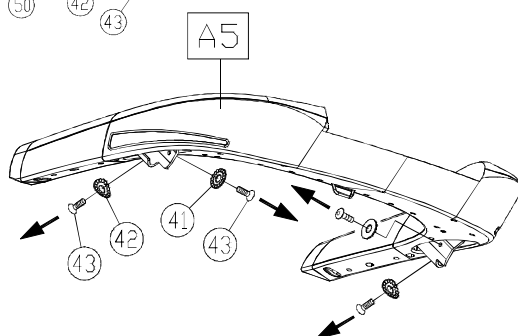


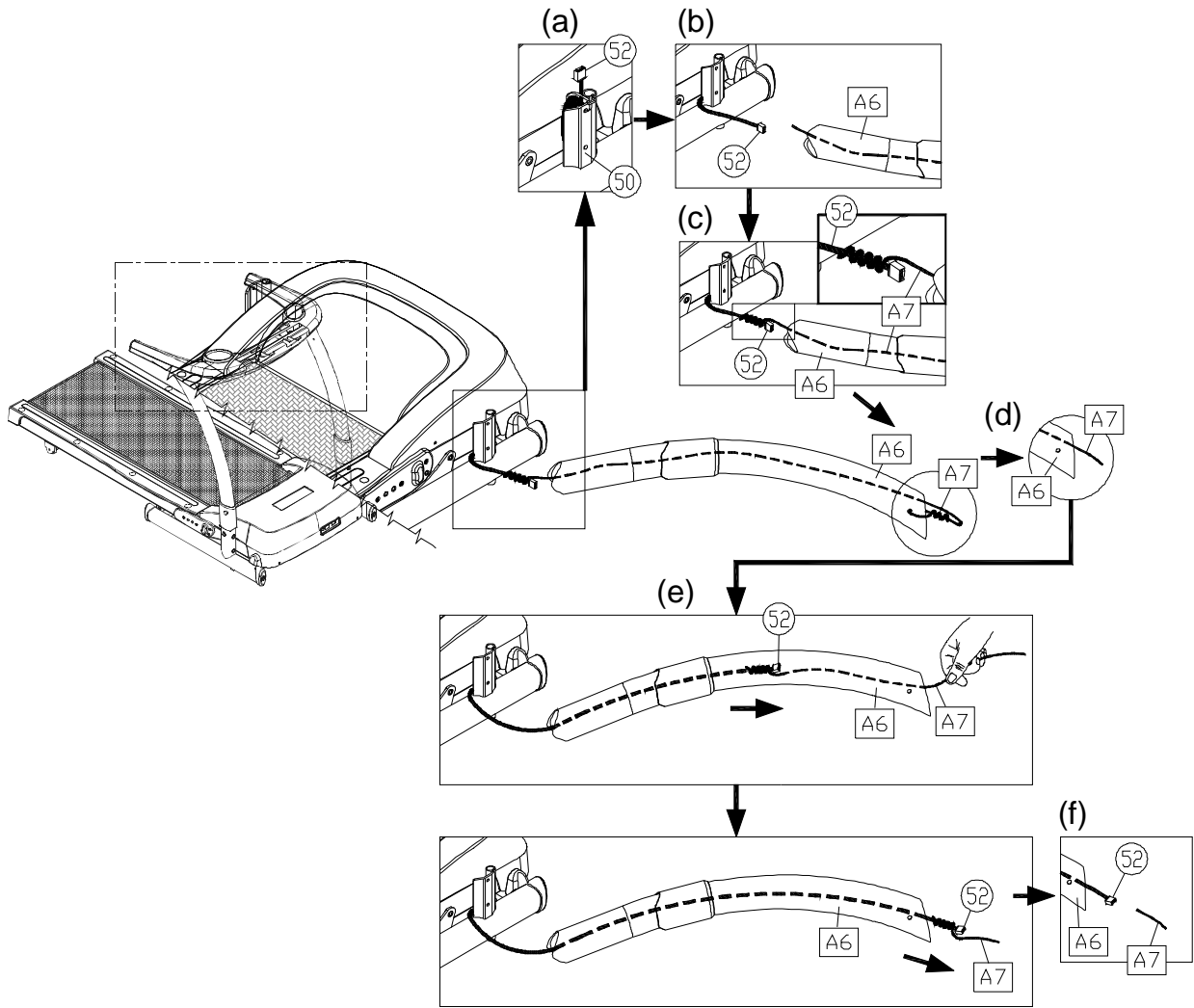
- ②①のノブを引っ張り、走行デッキを正常な状態にします。ノブを引っ張ってから、デッキ部を少し上に持ち上げると、楽にできます。



- ③ 本体支柱を左右、取り付けます。支柱に仮止めしてあるボルト、ワッシャー類を外して下さい。

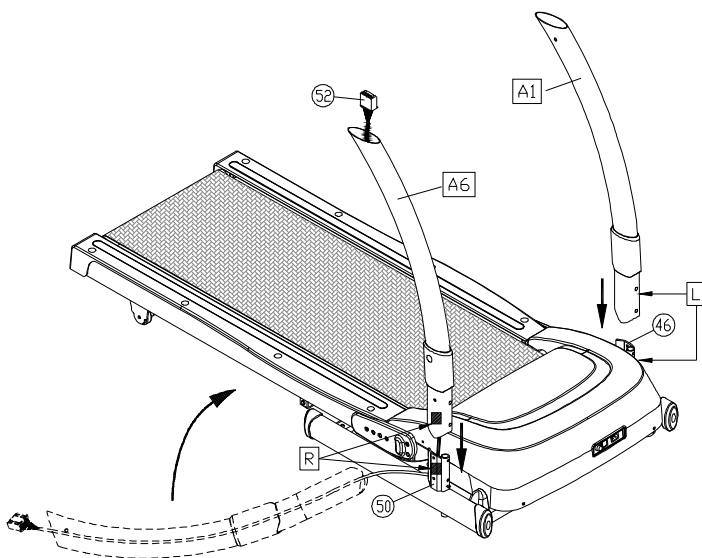
次に、ハンドルバーのボルト、ワッシャー類も外して下さい。





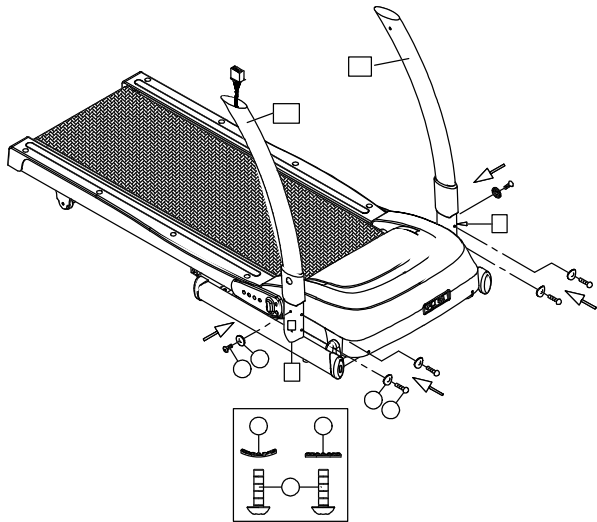
No.52 のケーブルを A6 の支柱(右側)に挿入します。

あらかじめ、支柱（右側）の中に差し込んであるワイヤー(A7)、にNo.52 のケーブルを縛ります。縛って、固定できたら、ゆっくりとワイヤー(A7)を引っ張ります。支柱の上側から、ケーブル (No. 52) が出てきたら、ワイヤー (A7) を切り離します。

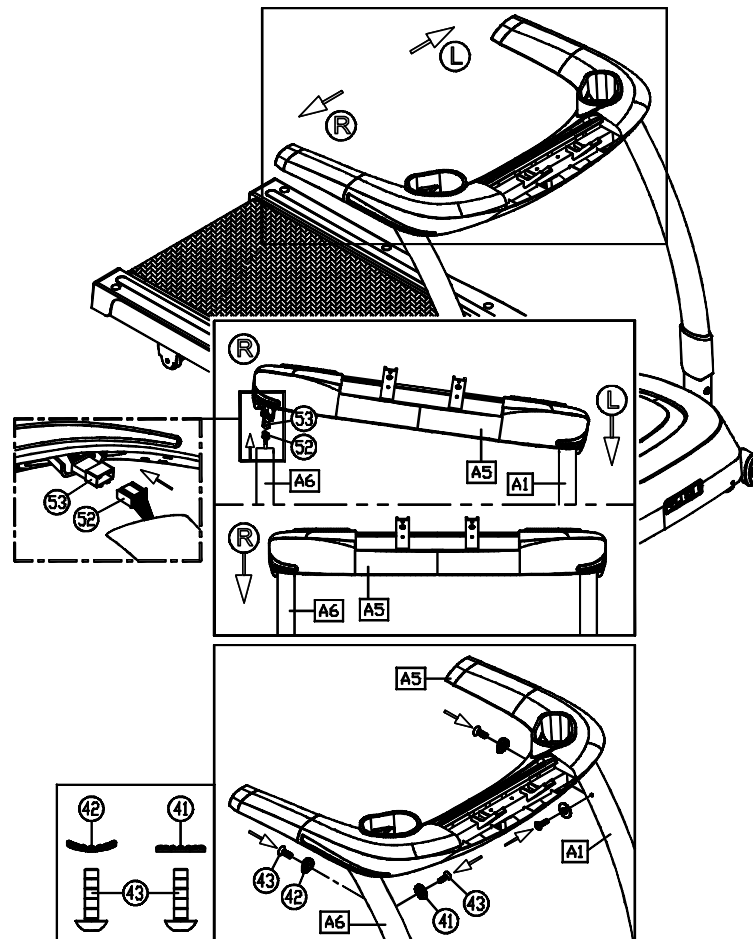


ケーブル(No.52)を通した支柱(右側)を図の
ように固定します。

次に、左側の支柱も固定します。



先ほど、取り外したボルト、ワッシャー類で、支柱を固定します。
 ※この時、まだ仮止め状態にして下さい。

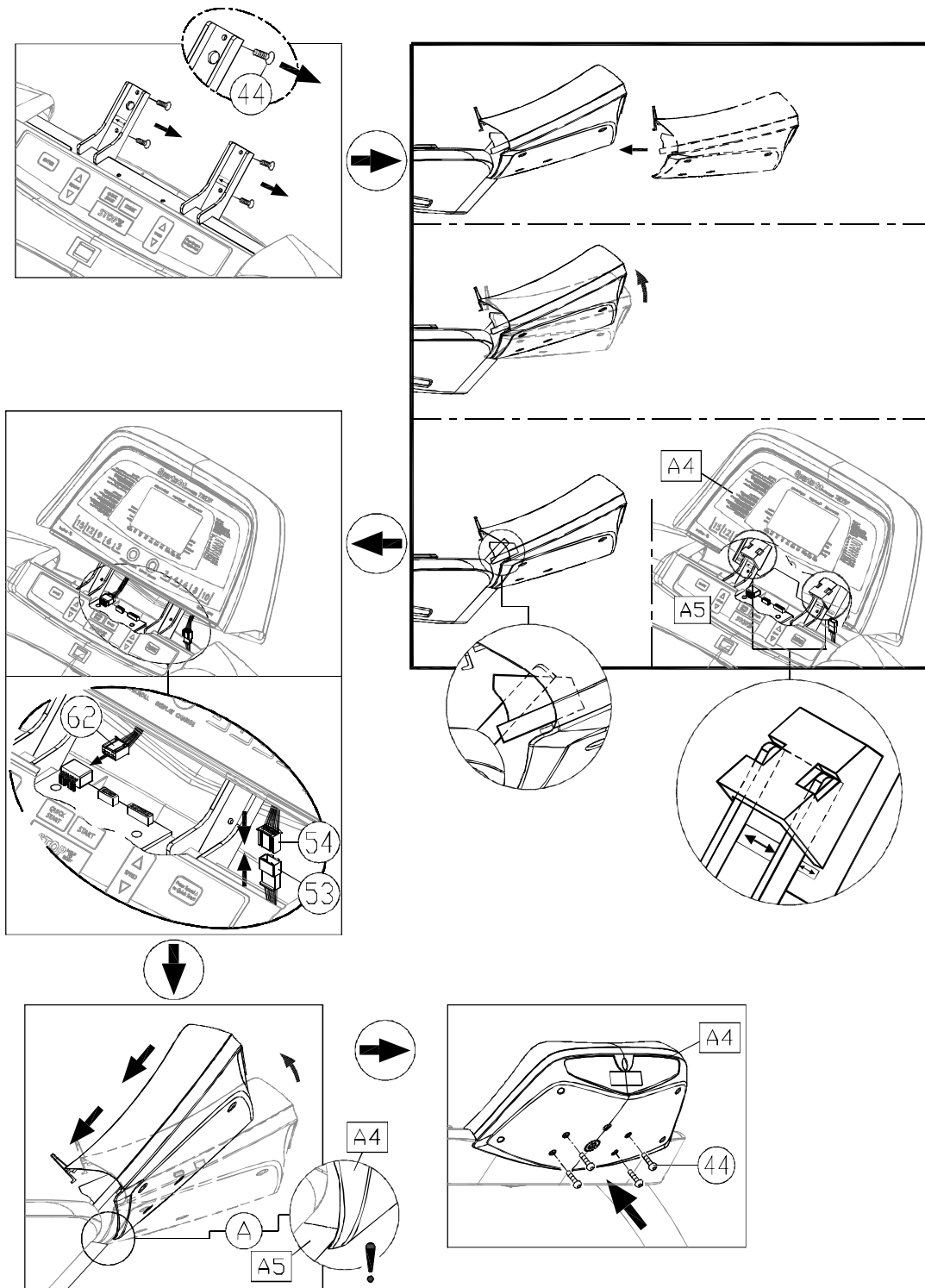


ハンドルバー（A5）を取付けます。

まず、左側を仮置きします。その後、右側を取付けますが、支柱からのケーブル(No.52)とハンドルバーのケーブル(No.53)を接続します。確実に固定してください。

ケーブル接続の後、ハンドルバーを取付け、ボルト、ワッシャーで、固定します。

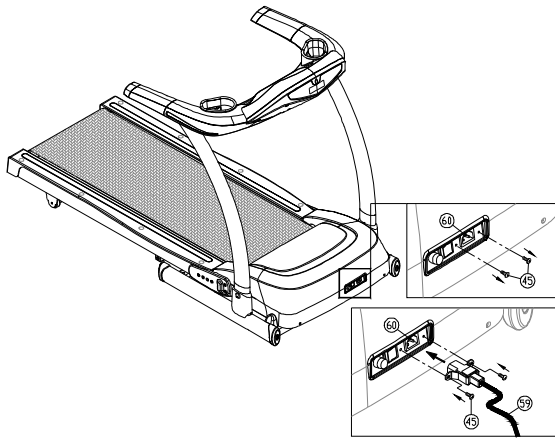
※支柱の下側のボルトと、ハンドルバー固定ボルトの全てのボルトが取付けできたら、全てのボルトを確実に締めて、固定してください。



表示パネル取付部のネジ(44)を取外します。

表示パネルを取付けますが、ゆっくりと差し込みます。

接続ケーブル(No.62、54、53)を確実に固定します。その後、図のようにネジ4本で、固定します。



電源コードを取付けます。
 あらかじめ、仮止めされているネジを外します。
 次に電源コードを取付け、ネジ2本で固定します。

※ ご使用の前に安全キーを取付けてください。

以上で組立て作業は完了です。全ての部品が
 取付けられているかご確認ください。

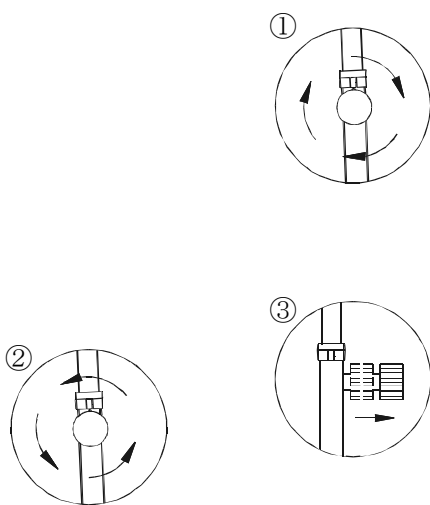
◎TR22F の折畳み方法と解除方法

【解除方法】

図②のようにノブを反時計回しに回して、
 図③のように手前に引っ張ります。ノブの
 ロックが外れますので、走行デッキを床面
 側にゆっくりと倒します。

【折畳み方法】

走行デッキを両手でしっかりと持ち上げて
 行きます。最後まで持ち上げますと、カチッ
 という音がするまで押込みます。倒れない
 ことを確認してから、図①のようにノブを
 時計回しに回して固定してください。



操作方法について

◎操作部、表示パネル部の名称



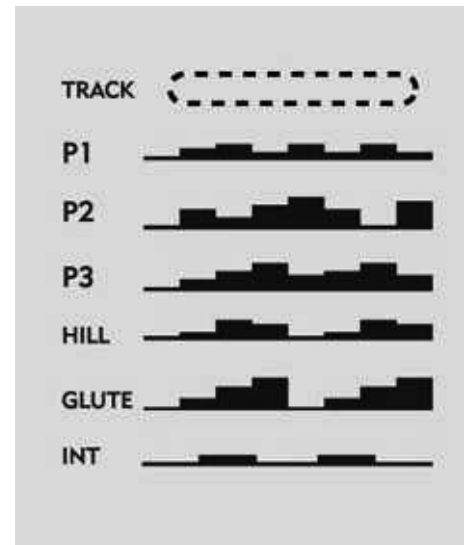
①運動プログラムイメージ	各運動プログラムのイメージが表示されています。 ランプが点灯している部分が該当プログラムです。
②運動データ表示部	運動時間、運動距離、消費カロリー、傾斜角度、メッツ、走行速度ペースなどの運動データを表示します。
③インフォメーション表示部	スクロール文字の表示やエクササイズのイメージなどを表示します。
④目標脈拍 脈拍表示部	脈拍数を表示と 運動時の目標とする脈拍を表示します。
⑤ワンタッチボタン(傾斜)	傾斜角度をワンタッチで設定することができます。
⑥プログラム表示部	プログラムを選択すると、各々の項目が点灯します。
⑦表示切替ボタン	運動データの上下項目の切り替えをします。
⑧ワンタッチボタン(速度)	速度をワンタッチで設定することができます。
⑨決定ボタン	データの数値の登録、各設定項目の決定に使用します。
⑩傾斜ボタン	傾斜角度の変更時に使用します。
⑪クイックスタートボタン	クイックスタート時に使用します。
⑫スタートボタン	初期画面の時に押します。
⑬ストップボタン	ストップする時に使用します。エクササイズ中に一度押すと一時停止します。長押しするとリセットします。
⑭速度ボタン	走行速度を変更する時に使用します。

※安全キーを必ず取付けてください。取付けていない場合、マシンは作動しません。

◎プログラムの概要

クイックスタートモード

クイックスタートモードはすぐにエクササイズができるモードです。簡単に始めることができます。



2. マニュアルモード(トラック)

セレクトボタンでマニュアルを選択すると、トレーニング目標時間の設定をすることができます。

3. プログラムモード1~3

あらかじめマシンに搭載されている3種類の傾斜パターンの運動プログラムのエクササイズができます。

4. ヒルモード

あらかじめマシンに搭載されている山登り用の傾斜パターンの運動プログラムのエクササイズができます。

5. グルーツモード

あらかじめマシンに搭載されている足中心のエクササイズの傾斜パターンの運動ができます。運動時間は30分間です。

6. インターバルモード

休息時と運動時の2パターンのインターバルトレーニングが可能です。

休息(レスト)時の傾斜/速度/時間、運動(ワーク)時の傾斜/速度/時間、そして目標とする総運動時間の設定が可能です。

ウォーキングの場合は3 km~6 km/h
ジョギングの場合は8~10km/h
それ以上のランニングの場合はマシンに十分に慣れられてからご使用いただきますように
お願いします。

◎クイックスタート

1-1 クイックスタートモード選択

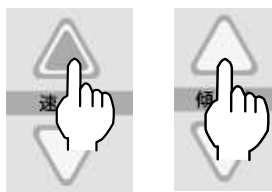


簡単操作のクイックスタートモードです。電源をONにしてすぐにクイックスタートボタン（速度ボタン↑）を押します。

1-2 走行ベルトスタート

すぐに走行ベルトが動き出します。

1-3 速度、傾斜を入力



任意で走行速度、傾斜角度の変更を行います。

ウォーキングの目安は3~5km/h、ジョギングは8km/h以上を目安としてください。個人差がありますので、ご自分の体力、体調などに合わせて設定してください。

1-4 エクササイズ終了



マシンを停止させる時はストップボタンを押します。または、安全キーを外します。

ストップボタンを長押しすると、トレーニングデータがリセットされ、初期状態に戻ります。

◎目標設定モード（マニュアルモード）

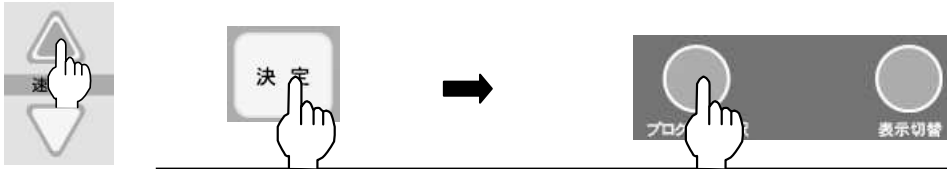
2-1 ユーザー設定



初期画面の時にスタートボタンを押します。

ユーザー選択になりますので、速度ボタンでユーザー1～4を選択し、決定ボタンで確定します。

次にプログラム選択ボタンを押して、「マニュアル」を表示します。

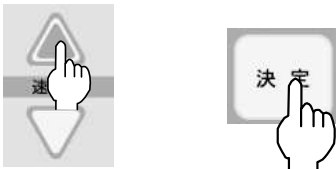


2-2 年齢、体重入力

ユーザーのデータ入力になります。

年齢、体重を入力します。

速度ボタンで数値を上下させ、決定ボタンで決定します。

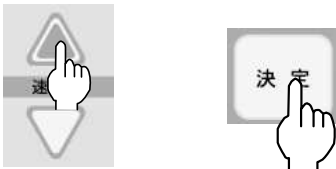


2-3 目標運動時間入力

トレーニング目標時間の入力をします。

速度ボタンで数値を入力し、決定ボタンで決定します。

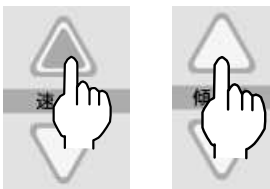
目標時間は5:00-99:00【分】



2-4 エクササイズスタート

速度表示部が点滅するので、速度ボタンを押すとエクササイズがスタートします。

任意で速度、傾斜の変更ができます。



2-5 エクササイズ終了

目標値に達成するとアラームがなり、止まります。

途中でマシンを停止させる時はストップボタンを押します。

または、安全キーを外します。



◎プログラムモード

3-1 ユーザー設定



初期画面の時にスタートボタンを押します。

ユーザー選択になりますので、速度ボタンでユーザー1～4を選択し、決定ボタンで確定します。

次にプログラム選択ボタンを押して、「P1～P3」を表示します。



3-2 年齢、体重入力

ユーザーのデータ入力になります。

年齢、体重を入力します。

速度ボタンで数値を上下させ、決定ボタンで決定します。



3-3 目標運動時間入力

トレーニング目標時間の入力をします。

速度ボタンで数値を入力し、決定ボタンで決定します。

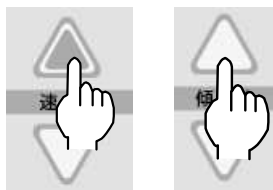
目標時間は5:00～99:00【分】



3-4 エクササイズスタート

速度表示部が点滅するので、速度ボタンを押すとエクササイズがスタートします。

任意で速度、傾斜の変更ができます。



3-5 エクササイズ終了

目標値に達成するとアラームがなり、止まります。

途中でマシンを停止させる時はストップボタンを押します。

または、安全キーを外します。



◎ヒルモード

4-1 ユーザー設定



初期画面の時にスタートボタンを押します。

ユーザー選択になりますので、速度ボタンでユーザー1～4を選択し、決定ボタンで確定します。

次にプログラム選択ボタンを押して、「HILL」を表示します。



4-2 年齢、体重入力

ユーザーのデータ入力になります。

年齢、体重を入力します。

速度ボタンで数値を上下させ、決定ボタンで決定します。



4-3 目標運動時間入力

トレーニング目標時間の入力をします。

速度ボタンで数値を入力し、決定ボタンで決定します。

目標時間は5:00-99:00【分】



4-4 エクササイズスタート

速度表示部が点滅するので、速度ボタンを押すとエクササイズがスタートします。

任意で速度、傾斜の変更ができます。



4-5 エクササイズ終了

目標値に達成するとアラームがなり、止まります。

途中でマシンを停止させる時はストップボタンを押します。

または、安全キーを外します。



◎グルートモード

5-1 ユーザー設定



初期画面の時にスタートボタンを押します。

ユーザー選択になりますので、速度ボタンでユーザー1～4を選択し、決定ボタンで確定します。

次にプログラム選択ボタンを押して、「GLUTE」を表示します。



5-2 年齢、体重入力

ユーザーのデータ入力になります。

年齢、体重を入力します。

速度ボタンで数値を上下させ、決定ボタンで決定します。



5-3 目標運動時間

トレーニング目標時間は30分間となっています。

目標時間の変更をすることはできません。

5-4 エクササイズスタート



速度表示部が点滅するので、速度ボタンを押すとエクササイズがスタートします。

任意で速度の変更ができます。

5-5 エクササイズ終了



目標値に達成するとアラームがなり、止まります。

途中でマシンを停止させる時はストップボタンを押します。

または、安全キーを外します。

◎インターバルモード

6-1 ユーザー設定



初期画面の時にスタートボタンを押します。

ユーザー選択になりますので、速度ボタンでユーザー1～4を選択し、決定ボタンで確定します。

次にプログラム選択ボタンを押して、「インターバル」を表示します。



6-2 年齢、体重入力

ユーザーのデータ入力になります。

年齢、体重を入力します。

速度ボタンで数値を上下させ、決定ボタンで決定します。



6-3 トータル時間設定

総運動時間の設定入力を行います。

速度ボタンで目標運動時間の入力をして、決定ボタンで決定します。



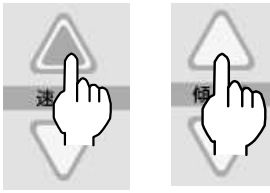
6-4 レストモード設定

レストモードの運動時間を入力します。

速度ボタンで目標時間を入力し、決定ボタンで決定します。



6-5 レストモード設定



レストモードの傾斜、速度の設定をします。

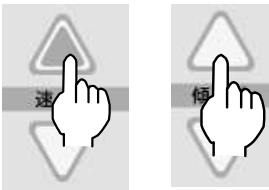
傾斜ボタンで傾斜、速度ボタンで速度を入力します。

傾斜、速度の両方を入力したら、決定ボタンで決定します。

6-6 ワークモード設定

6-4 6-5 の同様の方法で、ワークモードの運動時間、傾斜、速度を設定します。

6-7 エクササイズスタート



速度表示部が点滅するので、速度ボタンを押すとエクササイズがスタートします。

任意で速度、傾斜の変更ができます。

6-8 エクササイズ終了



目標値に達成するとアラームがなり、止まります。

途中でエクササイズを終了する時はストップボタンを押すか、安全キーを外します。

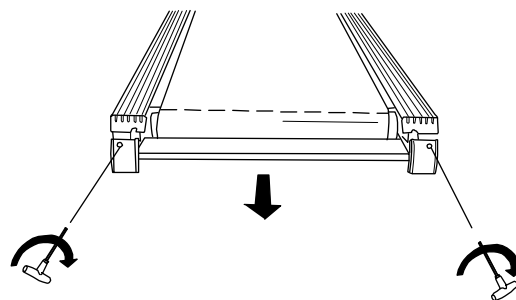
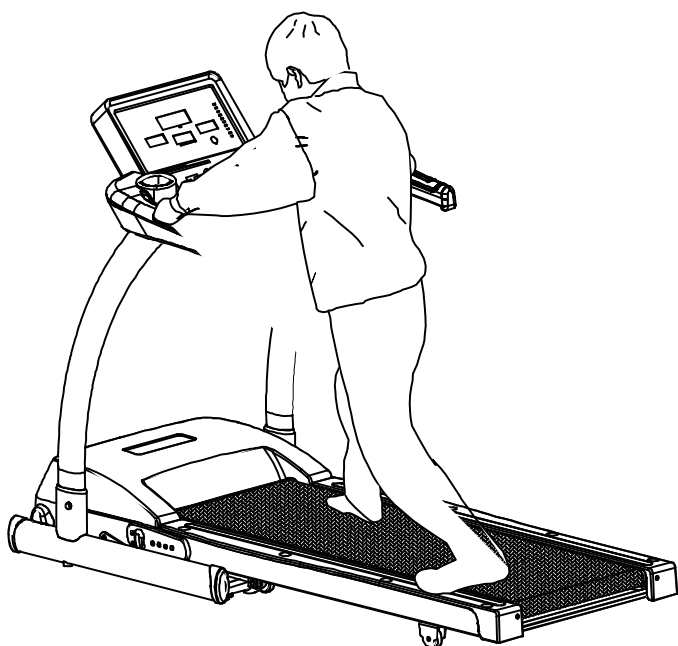
調整方法とお手入れ方法

◎走行ベルトの張り調整

走行ベルトの張りが緩いと走行中に走行ベルトがスリップ（モーターは動くがベルトが止まってしまう症状）して、大変危険です。

逆に走行ベルトを張りすぎると、前後のローラーのベアリングに無理がかかったり、電子部品やモーターに負担がかかり、故障の原因となります。

下記の方法で適切な張り調整を行ってください。



- ① 付属の走行ベルト調整用のレンチを走行ベルト調整ボルトに差込み、走行ベルトを一旦緩めます。
- ② 走行速度を4 km/hに設定して、左図のように手すりを持って足を踏ん張り、走行ベルトを止めるようにしてください。
- ③ もし、走行ベルトが止まったら、走行ベルトの張りが弱いので、少し両サイドを同じくらい時計回りに回します。
- ④ ②、③を繰り返し行って、走行ベルトが止まらなくなる状態まで張ります。

危険

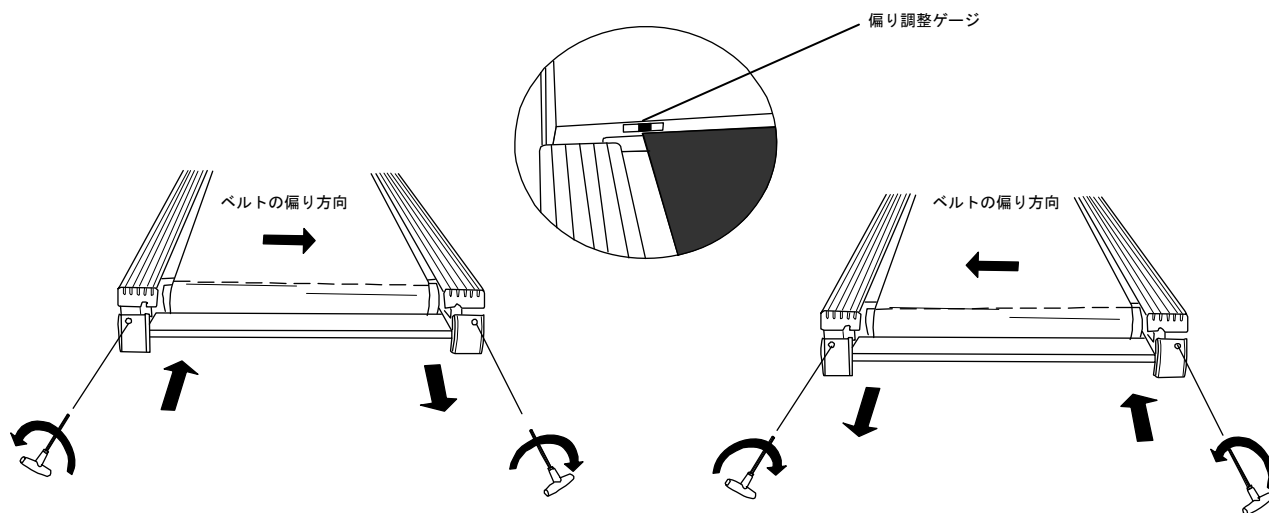
走行ベルトの張りが緩いとモーターが作動しているのに走行ベルトが一瞬止まってしまう、走行ベルトがスリップしてしまいます。使用者が転倒する危険がありますので、適切に張り調整をしてください。

走行ベルトの張りが強すぎると、モーターや前後のローラーに負担がかかり、異音などの発生原因となります。また、走行ベルトの裏面の消耗が早まり、必要以上の負荷がモーターや電子基盤などにかかり、故障の原因となりますので、ご注意ください。

◎走行ベルトの偏り調整

基本的に前ローラーと後ローラーが完全に平行になっている場合は偏りはありません。

もしも、左右いずれかに偏りが発生する場合は下記の要領で偏り調整ゲージの緑の範囲内で収まるように調整してください。



走行ベルトが右側に偏る場合

マシンを作動させて、基本的には偏る方向の（この場合は右側）の調整ボルト時計回り方向に90°ずつ回して変化を確認しながら引っ張りを繰り返してください。

逆の方向に偏る場合は回しすぎですので、反時計回しに戻してください。

走行ベルトが左側に偏る場合

マシンを作動させて、左側の調整ボルトを時計回りに回して引っ張りを繰り返します。

逆の方向に偏る場合は回しすぎですので、反時計回しに戻してください。

もうひとつの方法としては走行ベルトの偏る方向と逆のボルトを反時計回しに回して緩めることもできます。どちらの方法でも構いませんが、走行ベルトの張りすぎには十分に注意ください。

注) 次の場合は走行ベルトの調整をしても偏りの調整はできません。

① 設置している場所が水平ではない場合

床面が水平ではない場合は低い方向へ走行ベルトが偏ります。

なるべく水平な場所へ設置し、やむを得ず、水平でない場合は床面アジャスターでマシンが水平になるように調整してください。

② お体の不自由な方（特に足の不自由な方など）が使用する場合

両足のけり足の力が均一でなく、どちらかの足の力が強い場合、走行ベルトはいずれかの方向に偏る場合があります。

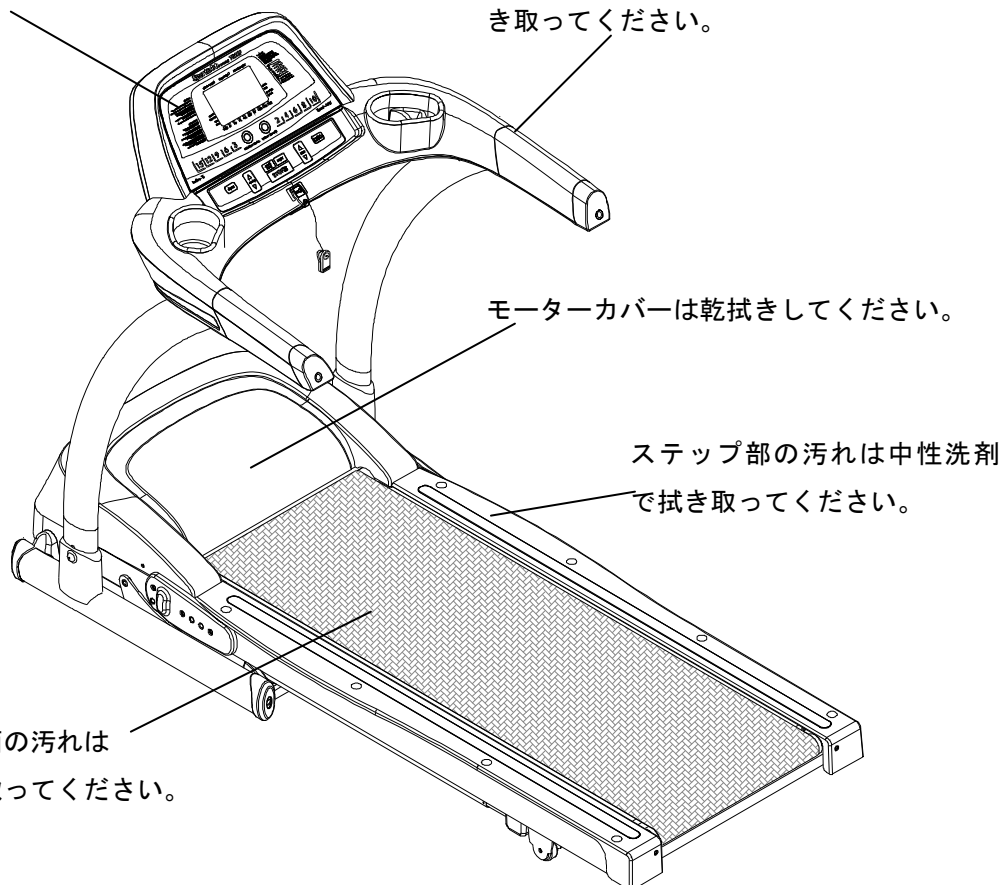
③ アライメントローラーが走行ベルトから外れている場合

◎各部のお手入れ方法

マシンを長くお使いになるために次のようなお手入れ方法を実施してください。

表示部の汚れは薄めた中性洗剤などで拭き取ってください。または乾拭きしてください。

手すり部分は使用毎に汗などを乾いた布で拭き取ってください。



モーターカバーは乾拭きしてください。

ステップ部の汚れは中性洗剤で拭き取ってください。

走行ベルトの表面の汚れは中性洗剤で拭き取ってください。

◎走行ベルトの裏面と走行板の表面の清掃について

最低1ヶ月に1度は走行ベルトを緩めて、走行ベルトの裏面と走行板の表面を乾いた布などで乾拭きしてください。

⚠ 注意

中性洗剤以外の洗剤を使用された場合、色の退色や溶解、変形などが生じる場合がありますので、中性洗剤以外のご使用はお止めください。

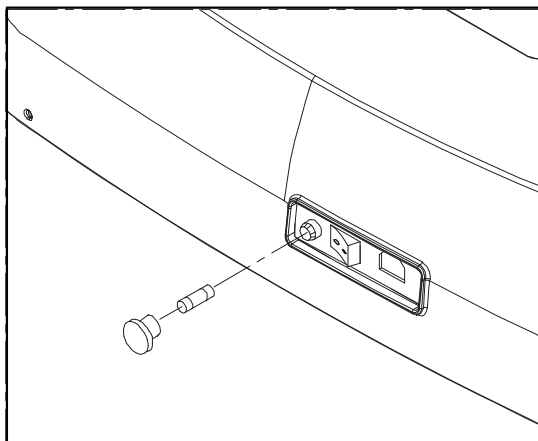
走行板・走行ベルトの裏面は特殊処理しておりますので、洗剤や潤滑油（CRC など）のご使用はお止めください。

トラブルシューティング

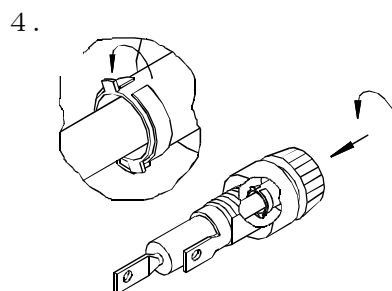
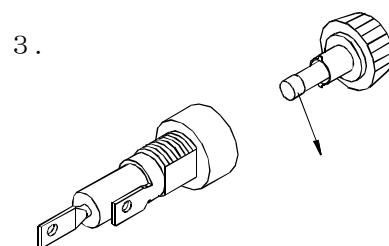
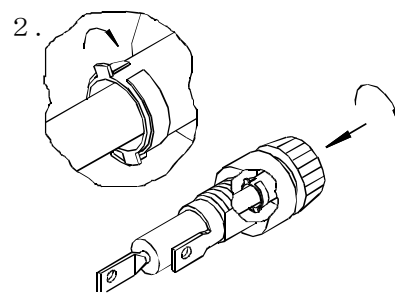
◎ヒューズの交換方法（12Aヒューズ）

⚠ 危険

ヒューズを交換する場合は必ず電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてから作業してください。



1. 電源スイッチを OFF にして電源プラグをコンセントから抜きます。
2. ヒューズホルダーを押しながら反時計回しに回してヒューズホルダーを抜いてください。
3. ヒューズホルダーからヒューズを抜き取り、切れていないか確認してください。切れている場合は新しいヒューズと交換します。
4. ヒューズホルダーを元に戻して、押しながら時計回しに回して固定します。



⚠ 注意

指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズをご使用になりますと本体に悪影響を及ぼす可能性がありますので、必ず指定のヒューズをお求めになってください。

指定以外のヒューズをご使用になったの故障は保証の対象外となります。

◎エラーメッセージについて

もしも、トレッドミルが動かなくなった時は表示パネル部にエラーメッセージが表示されます。一度、電源を切り、3分後に再度電源をONにしてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は下記を参考にお願いします。

コード	意味	内容（対応策）
エラー1	速度センサーエラー	走行ベルトが少し動いて止まる場合は速度センサーが感知していません。速度センサーに埃が着いている。速度センサーの故障が考えられます。
エラー1	モーター不作動エラー	速度を入力して、走行ベルトが全く動かない場合、モーターが作動していない信号です。販売店にご相談ください。
エラー3	速度制御エラー	トレッドミルが認識している速度と実測値の速度が合わない時に表示されます。走行ベルトを止めるような走り方や後ろ向きでの走行など考えられます。走り方をチェックしてください。
エラー7	傾斜システム通信エラー	傾斜システム間の通信エラーの場合に表示されます。VR器のコネクターの断線やVR器の故障が考えられます。販売店にご相談ください。
エラー10	電気回路エラー	トレッドミルが暴走したり、速度が急激に最高速度まで上がったたり、下がったりした時に表示されます。販売店にご相談ください。
エラー14	モーターエラー	1、モーターが過熱している時に表示されます。 2、折畳みの状態から正常な状態に戻っていない時に表示されます。一度電源を切って、十分にモーターの熱が下がるまで使用を控えてください。

表示部に何も表示されない場合

1. 電源スイッチが入っていることを確認してください。（電源が入っていると点灯します。）
2. 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認してください。
3. 建物のブレーカーを確認してください。
4. メインヒューズ（12A）が切れていないか確認してください。

上記の4つを確認していただいて、それでも表示されない場合は販売店にご相談ください。

電源スイッチは点灯しているが表示部が表示されない場合

ドライブボード（モーターカバー内の電子基盤）の中のCPU表示用のヒューズが切れている場合があります。販売店にご相談ください。



注意

メーカーより依頼されたメンテナンス要員以外の方はモーターカバーを絶対に開けないようにしてください。（メーカーより指示のある場合を除きます。）もしも許可なくして、故障が発生した場合は保証の対象外となる場合があります。

その他

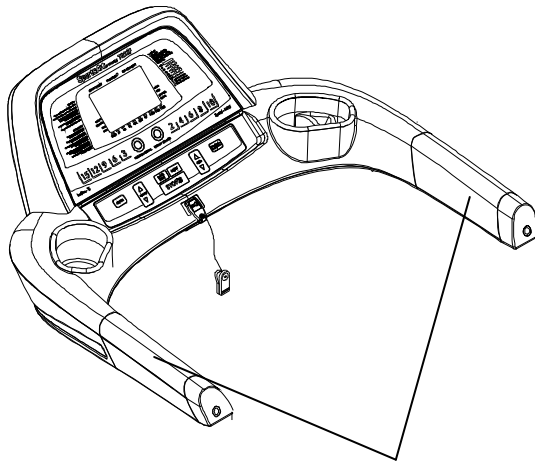
◎製品仕様

- ①走行速度 0.2km/h～14.5km/h (0.1km/h)
- ②時間計測 0～99min 59s
- ③距離計測 0～99.99km (0.01km ステップ)
- ④停止装置 磁気マグネット式
- ⑤駆動方式 直流モーター制御方式
- ⑥電源入力 100V 50/60Hz 12A

◎寸法

- 本体 長さ 1980×幅 890×高さ 1365mm
重量 118kg
- 有効走行面サイズ 幅 50.8×長さ 147.3mm

◎脈拍の測り方 (HTRグリップ)



グリップ式脈拍センサー

TR20FIIの脈拍数は脈拍グリップセンサーを握ることで表示します。

両手でしっかりと握ってください。

個人差で読み取りにくい方もいますが、表示するまでしっかりと握ってください。

※脈拍数はあくまでも目安程度にご使用ください。

◎日常・定期点検について

トレッドミルを安全に機能、性能等の信頼性を維持するためにこのページに記載してある使用前の「日常点検」と「定期点検」は使用不可欠なことです。もし、保守点検の欠如により事故が発生した場合は、当社が責任を負えないことがありますのでご注意ください。

危険

- 装置を分解しないこと

装置の内部には高電圧部分があり、万が一手を触れますと感電して危険です。絶対に分解しないでください。

- 物、水等を入れないこと

コネクタや本体内部に水、金属、燃えやすいものを入れないでください。火災や感電、事故の原因となります。

点検前にはトレッドミルを清掃してください。汚れのひどい時は中性洗剤を含んだ布を固く絞って拭き取った後、乾いた布でよく乾拭きしてください。

「日常点検」

日常点検は日常点検記録表（P27）に従って、毎日実施してください。

「定期点検」

定期点検は定期点検記録表（P29、30）に従って実施してください。

定期点検は少なくとも6ヶ月毎に実施してください。

「日常点検」「定期点検」において不具合が発見された時は、不具合の内容を当社までご連絡ください。

「保守点検契約」に関するお問い合わせについては、販売店までご連絡ください。

日常点検記録表

管理 NO

項目		点検項目	判定基準	合否	要修理
視覚的 点検	コード類 消耗品 付属品	1 電源コード	キズ、破損はないか		
		2 取扱書の保管	規定の場所に保管してあるか		
		3 その他			
	外観	1 外装のキズ、割れ、変形、錆	破損などがないか		
		2 銘板、シールなどの剥れ、汚れ	表示が確認できるか		
3 フレームなど		破損などがないか			
4 走行ベルト		磨耗、両端のほつれがないか			
5 その他					
機械的 点検	本体	1 走行部	動きがスムーズで異音などがないか		
		2 傾斜部	動きがスムーズで異音などがないか		
		3 その他			
	コード類	1 電源コード	コンセントの保持力に問題はないか		
		その他			
電氣的 点検	性能	1 ストップボタン	正常に停止するか		
		2 リセットボタン	全ての表示が0表示になるか		
		3 速度ボタン	スムーズに表示が上下するか		
		4 傾斜ボタン	スムーズに表示が上下するか		
		5 各種動作モード	各種動作モードが確実に設定できるか		
		6 その他			
清掃、消毒	1 清掃、消毒				
その他					
総合判定					

機種名	トレッドミル	型式	TR-22F
設置場所		製造 NO	
点検日時		購入年月日	
点検責任者		承認	

定期点検記録表

管理 NO

項目		点検項目	合否	要修理	
視覚的 点検	外観	1 取扱説明書が保管されているか			
		2 電源コードに破損・キズはないか			
		3 電源コードのコンセントへの保持力はOKか			
		4 アースの接地はOKか			
		5 設置場所の条件（直射日光・ほこり・振動・床面等）は良いか			
		6 外装の破損・変形・錆などがいないか			
		7 表示パネル部の表示部に汚れや破損、文字欠けなどがいないか			
		8 表示パネル部の操作部に汚れや破損などがいないか			
		9 走行ベルトの偏り、張りは適当か			
		その他			
	外部内部 点検	1 走行ベルト（裏面）に汚れ・破損がないか			
		2 本体や手すりなどに亀裂・破損などがいないか			
	内部点検	1 走行板に汚れ・くぼみ・キズ・破損などがいないか			
		2 駆動ベルトの張りは適切か、磨耗していないか			
		3 電源スイッチ・ヒューズホルダーに破損はないか			
		4 電源スイッチは点灯するか			
	機械的 点検	機械的 点検	1 各ボルト・ナットの脱落や緩みはないか		
			2 前後ローラーの固定は確実か、異音はないか		
3 カーボンブラシが磨耗していないか、キズはないか					
その他					
性能 点検	作動点検	1 ストップボタン			
		2 速度△▽ボタン			
		3 傾斜△▽ボタン			
		4 各種プログラムボタン			
		5 最高速度で異音がしないか			
		6 傾斜装置の0%はOKか			
		7 傾斜装置に異音はないか			
		その他			
電氣的 点検	作動点検	1 供給側電圧測定（AC）			
		2 電源コード側消費電流値測定（AC）			
清掃、消毒		1 清掃、消毒			
総合判定					

電氣的点検のチェック表

使用状況の確認表

1	1日のおおよその使用時間				時間
2	1週間に何回使用するか				回/週
3	消耗部品など交換した部品を記入してください				
	○部品名	()	交換実施日	年	月 日
		()	交換実施日	年	月 日
		()	交換実施日	年	月 日
		()	交換実施日	年	月 日
		()	交換実施日	年	月 日
		()	交換実施日	年	月 日

機種名		型式	
設置場所		製造 NO	
点検日時		購入年月日	
点検責任者		承認	

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製品名	スポーツアートトレッドミル
製品番号	SPORTS ART TR22F
製造番号	

お買い上げ日： 年 月 日

お名前
ご住所
電話番号

保障期間はお買い上げの日から1年です。
業務用としての使用は保証の対象外です。
販売店

ご購入後、ご記入願います。ご記入のない場合、保証が受けられない場合があります。

- 取扱説明書の注意に従った正常な使用環境と使用状況で、万一品質上の不具合が発生した場合において、消耗品を除き納入後1年間原則として販売店が保証修理いたします。
- 保証修理は補修、または部品の交換により実施し、これにより取り外された不具合部品は株式会社フジモリの所有物となります。
- 出張修理の場合は出張費を請求する場合がありますので予めご相談ください。
- 保証修理をお受けになる場合には製品保証書の提示が必要となります。
- 保障期間内においても保証書の掲示がない場合は、無償修理の対象になりませんので、保証書は大切に保管してください。
- 保障期間内であっても、次の場合には有償修理にての修理となります。
 - 誤用、乱用および取扱いの不注意によるもの。
 - 株式会社フジモリが認めた技術者以外によって修理や改造をしたとき。
 - 火災、水害、地震、落雷およびその他の災害、戦乱、争乱によるもの。
 - 部品の通常の磨耗、又は経年劣化。
 - 運送途中、備え付け時と使用時に生じた傷、色の退色、および外見上の変化。
 - 機能に影響のない感覚的現象（音、振動等）
- その他の保証対象免責事項
 - 運送、販売の作業によって引き起こされた費用（備え付け、除去にかかわる費用）
 - 取扱説明書の遵守に従わない使用によって起きたあらゆる損害。
 - 保障期間内中でも使用できなかったことによる期間損失等の費用。
- 当社の全責任はすべての環境下で本体の出荷価格を超えることはありません。なお、製造物責任法にかかる係争においては富山地方裁判所高岡支部を第1審裁判所と致します。
- 製品は日本国内の屋内施設の使用に限定し、この保証規定は日本国内の使用に限り有効です。



株式会社フジモリ

〒933-0831 富山県高岡市若富町186

Tel0766-21-0955 fax0766-21-0957

Eメール：fitness@fujimori-r.com

トレッドミルTR22F 簡単操作表

SportsArt^{FITNESS}

コンセントに電源プラグを差し込む

電源スイッチON

クイック
スタート

マニュアル
モード

プログラム
1~3

インターバル

ルート

セレクトボタンで各運動プログラムを選択し、決定で確定します。

トレーニング目標の項目を
選択します。(時間 or 距離)

目標値の入力、決定。

各ステージの傾斜角度、速
度、時間の入力をします。
カスタムインターバルの場
合は総運動時間の入力もし
ます。

速度表示が点滅するので、速度▲ボタンを押すとスタートします。

任意に速度・傾斜を変更できます。(速度▲▼ボタン・傾斜▲▼ボタン)

ストップボタン
を押して停止

目標の時間 or 距離に到達するとクールダウンモードにな
り、徐々に速度は落ちていき、自動的に止まります。

終了です。トレッドミルの電源を切って下さい。



製品に対するお問い合わせは

株式会社フジモリ 本社 フィットネス事業部

〒933-0831 富山県高岡市若富町 186

TEL0766-21-0955 FAX0766-21-0957

E-MAIL fitness@fujimori-r.com